



# サッカー 仲間と紡ぐスポーツ

鹿児島県薩摩川内市

シエンプレ・フットボールクラブ





★良いサッカー選手とはどんな選手？  
 ★今の自分の夢や目標を書いてみよう

↓  
 そのために…

① 1ヶ月後 どうなりたいですか？  
 ② 1年後 “ ”  
 ③ 3年後 “ ”  
 (中学生になったら…)



豊かな自然に囲まれ、400年以上もの歴史を持つ伝統行事「川内大綱引」がある鹿児島県薩摩川内市。この地域を優しく見守るような山々を背に、廃校になったグラウンド上で仲間と共にサッカーボールを追いかけられる子どもたちに出会う。コミュニケーションを大切にしながらサッカーをする子どもたちの傍には、神奈川県から鹿児島県へと越境し、サッカーチームを立ち上げた、SEMPRE FOOTBALL CLUB (シエンプレ・フットボールクラブ以下SEMPRE FC)の代表である川村純貴さんがいた。

SEMPRE FCが拠点としているのは、薩摩川内市にある高江未来学校。ここは薩摩川内市立高江中学校が2018年3月31日に閉校になった跡地を活用した施設。そこを運営するのは、地元出身の東峯生さん。東さんは、高校からバトミントンをはじめ、その後、社会人チームの選手として神奈川に移住。30歳になり、鹿児島で実業団のチームを作りたいと模索していたところ、高江中学校の跡地を活用できることを知り、その運営を請け負うことになった。

高江未来学校を運営する上で「一人とのつながりを重視している」と東さん。学校という地域コミュニティの拠点であった施設を利用してこともあり、地域との関係を築いていけるようなテナントを募集することにした。そして、風力発電の企業などと共に、テナントとして入っているのがSEMPRE FC。

SEMPRE FCの代表をしている川村純貴さんは、神奈川県出身。小学生の頃にサッカーを始め、夢のサッカー選手を目指し、中学・高校は神奈川にあるサッカーの強豪校に進む。だが、高校では十分に活躍することができず、大学に進

学した時点で、サッカー選手の夢を諦めることに。「大学1年生の時は、失意の1年間だった」と川村さんが語るように、上手くいかない日々が続いたという。そんな失意の日々から救ってくれたのは、サッカーがつかない縁だった。

フットサル(5人制のサッカーに近い競技)チームに誘われ、選抜試験に合格。そのチームの先輩から、東京にあるJクラブ下部組織のスクールコーチをやらなにかと打診を受ける。そこで、選手ではなくコーチとしてサッカーを仕事にできた経験が、指導者の道に進む契機となった。そして、そんなサッカーの指導者としてJリーグのユースチームに所属している頃に、元なでしこリーガの桃子さんと結婚。この縁が、SEMPRE FCを立ち上げる決定的なラストパスになる。

コーチ時代から、いつかサッカーチームを立ち上げたいと模索していた川村さんだったが、都会で拠点となるグラウンドを見つけるのは困難だった。結婚後の2019年、桃子さんの実家から、薩摩川内市でサッカーグラウンドが使えるとの連絡が届く。自由に使える拠点を持つことができるという吉報を受け、川村さんはすぐに準備を始め、翌年の2020年、鹿児島に拠点を移すこととなった。

「サッカーを通じて、自分に自信を持ち、一生の仲間をつくる」。そんな川村さんの今までの人生を表すようなフレーズを掲げるSEMPRE FCは、主に小学生を対象としてサッカースクールとチームとしての活動を行っている。この日は、チームに所属する子どもたちの練習取材した。

小学1・2年生は16時45分から、その他の学年は18時から始まる。選手たちの目線に立ち、一つ一つのプレーに意味



を持たせながら、子どもたちが自ら考えてプレーできるよう指導する川村さん。熱のこもった指導に選手たちも真剣に向き合っていた。

そんな指導を受ける小学校2年生の小牟田選手は、「このチームには仲間がいっぱいいて、パスをつなげるのが楽しい」と話す。また、小学校5年生でキャプテンの二ノ宮選手は、サッカーにおけるコミュニケーションの大切さについて、「疲れている時でも、頑張ろうと声を掛けることで、気持ちを切り替えることができる」と答えた。小学2年生の選手の保護者である下之蘭さんは、「良い仲間に恵まれているのが嬉しい。そして、みんなが上手くなっているのが楽しみにしている」とのことだった。

川村さんは、選手たちに向き合う時に大切にしていることとして、次のように語ってくれた。「良い選手を育てることも大切だが、選手たちにとって一生の仲間をつくること、色々な選択肢を与えることを意識している。そして色々な世界を見て、将来、自立できるようになって欲しい」。来年には、SIEMPRE FCの選手たちを連れ、関東に遠征に行くという。そこでは、関東でコーチをしていた時の仲間たちや教え子たちを交え、フレンドリーマッチを行い、選手たちが日常では味わえない経験をさせてあげたいと、笑顔で話してくれた。

サッカーには人と人をつなぐだけではなく、境界を越え、未来を作っていく力がある。そんなことを鹿児島で感じた。

【連絡先】  
シエンプレ・フットボールクラブ(代表:川村純貴さん)  
メール: info@siemprefc.com

